

【栗園跡地育樹祭】

栗園跡地の一部をカエデの里にしようと12月3日(日)に育樹祭を行いました。

今年は子供の参加がなかった昨年の反省を踏まえ日曜日に計画したため、地元のボーイスカウト2団体が参加するなど参加者は51名と増えました。

始めに開会式を森の工房で行った後、5班に分かれて自然観察会を行いながら現地に向かいました。現地では「森林とのきずなづくり植樹リレー」のボードに当地タグの取り付けを行った後に下刈りと植樹それに昨年まで植樹した木の剪定作業も専門家の指導を得ながら行いました。植えた樹種と数はクヌギ30本、ヤマツツジ30本それに加えてカエデ類25本の補植を行いました。

作業後は湯ノ岳山荘において豚汁とおにぎりの昼食となりました。



【山荘消火訓練について】

松本 學

昨年2回目の消防訓練を11月21日、木工班の女性8名の協力により「薪ストーブの前が燃えている」との想定で訓練用消火器を使用し消火訓練に参加してもらいました。さすが、女性陣は消火器の扱いがうまく、「的」に的中し訓練を終了しました。



【編集後記】今年は、冬の厳しさを実感させられるような寒さ、雪の天気が続いています。時々お天気が良い日があるととても晴れやかな気持ちになり、お日さまのありがたさがわかります。寒いときは寒いなり楽しみ方もあり、日本の四季折々のイベントは素晴らしいものだなあと感じます。

(発行) NPO 法人いわきの森に親しむ会

(発行責任者) 木田章一 (編集担当者) 鈴木小百合

(事務局) 〒972-8326 いわき市常磐藤原町湯ノ岳2 湯ノ岳山荘内

TEL/FAX 0246-44-3273 E-mail:yunodake@gray.plala.or.jp

HP : <http://iwaki-mori.jimdo.com/>

Facebook : <https://www.facebook.com/iwakinomori>

NPO 法人 いわきの森に親しむ会会報

第24号

ヤマザクラ

2018年(平成30年)1月20日(土)発行

新年にあたって

理事長 木田章一

新年明けましておめでとうございます。

「ろうきん森の学校」は2期目(2015~2024年)の3年目となり、2期目の目的である「森づくり」から始めて「人づくり・地域づくり」につなげる環境教育事業をさらに発展させていくことを目指しています。当会も、この目的達成のために会員の皆さんとともに努力していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

さて、新年にあたり昨年の主な活動を振り返ってみたいと思います。

【3月】2008年からいわき明星大学の科学技術部の学生を対象として環境教育の実習の場として整備した森林の維持管理を9年間実施してきましたが、学部廃止により2017年3月末で終えることになりました。

【6月】(3回)自然案内人養成基礎講座(2年目)を実施。

【5~12月】今年も会津若松のNPOが湯ノ岳山荘において小学生を対象に1泊2日の合宿を8回行った自遊学キャンプの支援を行いました。子ども一人一人の自主性に任せた合宿型自然体験活動のプログラムはとても参考になりました。

【6/9】長年、市民参加による育樹祭や森林ボランティア活動が評価され、(公益)福島県森林・林業・緑化協会より、ふくしま森づくり大賞の森づくり活動部門の大賞を受賞。

【8/29~9/11】国際ワークキャンプをタイ、メキシコ、日本各国の大学生等で実施。

※国際ワークキャンプとは、世界の若者達が共に生活しながら、住民たちと森林や畑の手入れ、祭りの運営、古民家の修理など地域で必要とされる活動に取り組む合宿型ボランティア活動。

【9/9~11】同時期に中央大学の学生も活動に参加。

【12/3】育樹祭を初めて日曜に開催、今年で栗園跡地での開催3年目、クヌギの薪炭林にするため15年計画でクヌギを植樹予定。カエデの補植に加えて今年ヤマツツジ30本の植樹もしました。

【12月】自然エネルギー学習施設(太陽光、風力、水力)を1カ所への集約化が完了しました。

昨年は「ろうきん森の学校」の広島地区を訪れました。広島駅から北に約1時間の島根県にほぼ近い中山間地で、活動エリア10haの中に、ため池(万代池2ha)があり、カヌー体験や野鳥観察など福島地区にはない自然環境でした。活動で特筆すべきは、小学4年生から中学3年生まで24名を対象に実施の夏休みに13泊14日した長期自然体験活動を地元大学生の支援を受け長年実施していることが驚きでした。そして、里山を

元気にするために行動するシニア世代を育成する「里山シニア大学」講座も参考になりました。

会員の皆さんの思いが徐々に実を結んできています。一つには昔あった棚田を復元しました。何十年も放置していたので収穫量は少なかったですが徐々に増やしていければと思っています。二つには、山荘周辺に食べられる実のなる木を植えて、収穫時期に食べようと思っていますので、会員の庭等で処分する木がありましたら提供願います。三つめは、子ども広場を整備したいと思います。ツリーハウスや秘密基地など私たちが昔夢中になって遊んだものを造りたいと思います。昨年末には落ち葉のプールを作り、子どもたちには大変喜ばれました。

また、当会で整備した木製デッキ等の木部が10年を経過し老朽化のため改修時期にきています。その解体・改修には多くの会員の協力が必要となりますのでよろしくお願いいたします。

正月の新聞に、高齢者は「キョウイク」と「キョウヨウ」が必要だとの記事がでていました。何のことかと思ったら、「今日行く所」と「今日用事」があるかが大切とのことでした。湯ノ岳山荘がそうした場所になればと思いました。

今年も「安全第一に楽しく」を活動して下さるようお願いいたします。

☆看板設置

丸山公園から湯ノ岳山荘に行く道路の頂上にあった看板の柱が折れてしまいました。

そこで看板の文字を新たに彫りペンキで仕上げました。



☆湯ノ岳山荘 ロビーの机・椅子が新しくなりました☆

湯ノ岳山荘1階ロビーのソファが古くなり、中身が見えてきたことから木工班で机と椅子を製作してくれました。木目が周囲の壁やフロアとなじんでとても明るくなりました。ありがとうございました。



古いソファ



新しくなった机・椅子

【ろうきん森の学校】

(平成29年11月・12月)

佐藤 烈

I.平成29年11月19日(日)(天候・晴)

1.実施内容 ①自然観察会、②どんぐりクッキー作り ③木工クラフト

2.参加者 65名

3.実施結果 自然観察会は大人だけで3班と親子の班を1つ作り、大人の班は紅葉の観察を中心に、親子の班は最初室内でどんぐりの勉強をし、その後どんぐり探しの旅に。たくさんの実を拾ったり、イチョウの葉に目玉を書いてゾウさんの形を作ったりしました。

山荘に戻って採取したどんぐりを細かくして、クッキー生地に練り込みこれを焼き、また用意されたクルミを混ぜ込んだパンも焼き、昼食時に食べました。また、食後に福尾さんを講師にハーブティーの話聞きいろいろな色のお茶を試飲しました。午後は子どもを対象にどんぐりコマを作りました。



II.平成29年12月17日(日)(天候・晴)

1.実施内容 ①自然観察会 ②そば打ち体験 ③門松づくり

2.参加者 52名

3.実施結果 自然観察会は子供連れの家族の班と大人だけの班の分け、子供連れの班はネイチャーゲームを組み込んだ観察会を、大人は冬の里山を感じる観察会を行いました。そば打ち体験では今年度はそば粉を練るそば打ち体験に加えてソバの実を石うすでひき、粉にした後篩でふるい、粉を分ける体験も行った。

お昼は恒例になったキノコの天ぷらがついたざるそばを食しました。午後はこれもまた恒例になっているミニ門松を希望者で作りしました。



そば打ち体験



葉っぱでジャンケン



目玉っち遊び

【クリナップ労組の体験活動支援】

11月18日(金)、クリナップ労組の家族計31名が来荘し、自然体験活動と木工クラフトづくり体験を行いました。紅葉のトンネルをめぐり秋を満喫しました。イチヨウの葉の動物は表情がどれも違いとても楽しそうでした。

午後の木工クラフトは子どもたちはカスタネットを大人は小物入れを作り記念の作品ができました。



【労金連合会クリスマス飾りづくり】

木田章一

12月16日(土) 労金連合会の家族と職員計7名が来荘し自然体験活動とクリスマス飾りづくり体験を行いました。クリスマス飾りは労金連合会職員で華道の先生が講師となり「スワッグ」というクリスマス飾りをつくりました。材料は地元にある枝や木の実を使い、全員素敵なスワッグが完成しました。



【森林整備班】

1. 森林整備班の定例活動一覧表

(H29.11.18~12.27)

月/日	曜	天候	実施事項	参加者
11/1	水	晴	山荘周辺の整備(草刈り)	2
11/8	水	曇	山荘周辺の整備(草刈り)	1
11/15	土	晴	栗園跡地の下刈り	1
11/18	土	曇	育樹祭の準備(植樹位置マーキング竿の切り出し・70本)	3
11/22	水	曇	栗園跡地の下刈り	4
11/29	土	曇	栗園跡地の下刈り	4
12/2	土	晴	育樹祭育樹準備(植樹箇所のマーキング、苗木の運搬、機材の準備)	3
12/6	水	晴	山荘周辺の整備(草刈り)	2
12/16	土	晴	里山整備(広葉樹林の伐倒)	2
12/20	水	晴	里山整備(下刈り作業)	4
12/27	水	晴	倉庫の整理と機材の点検整備	3
計	活動稼働延日数(11日)			29名

今回の主な活動は12/3(日)栗園跡地で開催される育樹祭の準備と里山整備関係の活動でした。今後(1月~3月)の活動は山荘周辺・里山整備と観察歩道の安全対策(枯れた立木の伐倒)が主となると思っております。定例整備日は毎週水曜日と第一・第三土曜日です。日頃の運動不足解消と一緒に汗を流してみませんか。

連絡・問合せは吉田英治まで。



12月16日 里山整備 伐採作業

2. 定例整備以外

11/4(土) 戸渡ソバ畑のイノシシ対策柵の撤去作業参加。

12/2(土) 今後森林整備を進める広葉樹林の里山整備計画現場調査(林業専門技術員今井辰雄氏の指導を受け実施しました)

3.海岸林の再生整備参加者数

(2017年10月～12月)

(人)

月日	整備内容	未来基地	ボランティア	計
10/07	地拵え・植樹	3	26	29
10/12	下刈り・植樹	3	12	15
10/20	”・”	3	56	59
10/21	地拵え・下刈り・植樹	5	42	47
10/24	下刈り・植樹	3	38	41
10/27	整備作業・地拵え・植樹	4	131	135
10/28	”・”・”	3	119	122
11/01	”・”・”	3	16	19
11/11	”・”・”	5	32	35
11/17	地拵え・植樹	1	6	7
11/18	整備作業・地拵え・植樹	3	24	27
11/30	整備作業・地拵え	3	—	3
12/02	整備作業・地拵え・植樹	3	20	23
12/04	”・”・”	6	223	229
12/08	”・”・”	3	21	24
12/09	”・”・”	3	12	15
12/15	”・”・”	3	67	70
合計		55	845	900

【自然エネルギー施設完成】

一昨年から、自然エネルギーの3施設（風力・太陽光・水車）を整備していましたが、三つの施設をバラバラにあるより一カ所にまとめてあった方が説明がしやすいとなり、12月末に風力、太陽光発電施設を広場の南側に移し水車も見える場所に移しました



目次 主な内容		P
新年にあたり	理事長・木田卓一	1
☆看板設置		2
☆ロビーの机と椅子が新しくなりました		2
森林整備班		3
1 森林整備班の定例活動一覧表		3
2 定例整備以外		3
3 海岸林の再生整備参加者数		4
☆自然エネルギー施設完成		4
農業班		5
1 野菜の苗植え付けと収穫の作業		5
2 落ち葉堆肥を畑に投入の作業		5
3 その他		5
木工班		6
プログラム班		6
☆ベレットストーブ設置		7
☆落ち葉のプール		8
観察班		8
☆ミニ門松づくり		9
☆落ち葉のカレンダーづくり		9
クリナップ労組体験支援		10
労金連合会 クリスマスツリー飾りづくり		10
ろうきん森の学校		11
開催日	1平成29年11月19日	
	2平成29年12月17日	
栗園跡地育樹祭		12
山荘消火訓練		12

【秋の自然観察会&落ち葉のカレンダー作り】

自然観察班 猪村 珠紀

1. 実施日時：平成29年11月26日（日）
9時30分～12時
2. 実施場所：湯ノ岳山荘およびその周辺
3. 参加者：17名（大人9名 子供8名）
4. スタッフ：9名
5. 実施内容



好天に恵まれ、まずは自然観察とカレンダーの素材探しを行いました。家族単位の3グループに分かれそれぞれのコースに出かけました。

イロハモミジのトンネルやドウダンツツジの色鮮やかな紅葉に驚きの声を上げムラサキシキブやガマズミの実が彩る森の散策をしました。

湯ノ岳山荘に戻って今度は「落ち葉のカレンダー」作りにチャレンジしました。観察会で拾い集めたお好みの落ち葉や、事前に集めて置いた沢山の落葉をカレンダーに貼り付けて個性豊かな「落ち葉のカレンダー」を作りました。

作り終えた作品の発表を1人ずつしてもらい感嘆や爆笑そして大きな拍手をもらって満足そうな笑顔を見せていました。



【落ち葉のプール】

11月末、落ち葉のプールが完成し、供用開始の12月3日の育樹祭では、子どもたちが落ち葉のプールに入り大はしゃぎでした。好評なので今年も製作予定です。



【観察班】 ミニ門松作り

(桑原記)

12月23日(土)湯ノ岳山荘の森の工房で一般募集した参加者26人と講師役の7人のスタッフで、ミニ門松作りを実施しました。

あらかじめ準備した孟宗竹と真竹を参加者がノコギリで切りましたが特に真竹の斜め切りは苦勞したようです。その後、太い孟宗竹の中に真竹を3本中央に立てて、その周囲に置表を巻いて縛りました。それから思い思いに赤松の枝を差し込み、南天等を飾って完成しました。

参加者は出来栄を見ながら、これで良い正月を迎えられますと喜んでいました。



【農業班】

農作業 2017年冬の活動報告

1. 野菜の苗植え付けと収穫の作業

農作業班：太田 満

苗植え付け

- ・11/13 春キャベツ 約100株
- ・11/20 タマネギ 約300株
- ・11/27,12/4 ソラマメ 約150株

収穫

- ・10/28 落花生
- ・11/6 さつまい
- ・11/25,27 大カブ

会員のI氏より珍しい桜島大根の種が提供され、8月末に種まきして育てていたのをとりあえず10株ほど収穫してみました。大きいので約3kg、でも本場鹿兒島では30kgくらいの大物になるそうです。女性の皆さん、収穫に悪戦苦闘。



2. 落ち葉堆肥を畑に投入の作業

今年始めに仕込んだ落ち葉堆肥がほぼ腐葉土化したので、12/11に堆肥を畑に投入して土を耕しました。畑の土作りには落ち葉堆肥が最適です。土嚢袋に入れた分は各自に1袋ずつ分配しました。



3. その他

- ・イノシシによる農作物の被害が引き続きありました(落花生、など)。
- ・ブルーベリーの枝を剪定しました(10/30、11/11)。
- ・収穫した大カブを使用して、千枚漬けを作りました(会員のK氏のご好意)。
- ・畑に隣接する竹藪を伐採して整備しました。

【木工班】

活動日 毎月第1、第3火曜日の午前中

男性はテーブルと長椅子を作成し、山荘のホールに設置しましたのでご覧ください。写真は長椅子の仕上げにヤスリをかけているところです。

女性はミニログハウスを作っている写真です。これは萩の枝を丸太に見立て、これを組み込んで作る可愛いハウスです。〔桑原記〕



長椅子作り



ミニログハウス作り

【プログラム班】

記：佐藤 烈

1. 学校等の支援活動

10月、11月は例年、年間の学校等支援のおよそ50%が集中します。今期は10月、11月それに12月の三か月で19件の支援を行いました。以下に江名小1年の生活科の支援と錦東小3年生の総合学習の第4回目の支援の様子を報告します。

江名小1年の生活科の支援は、例年ドングリや松ぼっくり等秋の木の実などを使ってどんぐりコマやけん玉などのおもちゃを作り、それで楽しく遊ぶことを目的に行われています。第1回目は、1年生がつくりそして自分たちで遊び、第2回目は幼稚園生を招き作り方を教え、更に遊び方も教えるという幼稚園と小学校が連携したものとなっています。今年は11月1日(水)と11月9日(木)に行われました。第2回目のときは、幼小連携の研究授業として市内の幼稚園教諭や小学校教諭更に教育センターの職員等十数名に見守られた中で行われました。

錦東小3年生の総合学習の第4回目の支援は11月16日(木)に行われました。今年は昨年より遅い日程となり、しかも例年より寒い中でアオギリの実がついて葉脈だけが残った美しい葉を見たり、落ち葉の分解のようすを観察したり、地面の保水力の実験などをしました。



錦東小3年第4回支援1

錦東小3年第4回支援2

江名小1年生活科幼少連携

2. その他の支援活動

学校等以外の支援活動として恒例となっている青少年育成市民会議小名浜地区推進協議会小名浜支部主催の「親子ハイキングとクラフト教室」の支援を小雨が交じる中、次のとおり行いました。

実施日時： 10月14日(土) 10時～15時

場 所： 湯ノ岳山荘とその周辺

参 加 者： 小名浜支部内の小学生とその保護者及びスタッフの47名

内 容： 4班に分かれての散策と親子で木工クラフト
(キッチンペーパーホルダーづくり)

支 援 者： プログラム班8名、他3名



3. その他の活動

10月8、9日に自然保護協会の講師時田先生をお迎えして、自然案内人研修会を開催しました。その詳細は10月に発行された会報ヤマザクラ23号で報告したとおりです。

☆ペレットストーブ設置

12月、大倉庫にペレットストーブが入りました。ペレットとは木材を細かなチップ状にし、ミンチのように圧力をかけて小さな穴から出たものをいい、直径約6mm、長さは約25mmです。材料は福島県産の木材を使用するので地産地消にもなり化石燃料を使わないので環境にやさしい燃料です。

